

公認卓球スタートコーチ養成講習会実施要項

1. 趣 旨

現在、公認指導者資格には、コーチ1～4があります。これらの資格制度では、カリキュラムの時間数が多く、忙しい指導者が取得するためには、かなりハードルが高いものです（コーチ1でも共通・専門 合計 65 時間）。コーチ資格を取得することは、スポーツ指導者として適切な資質能力を身につけ、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献することになります。

また、今日、中学校部活動の地域移行が進んでいる中で、外部コーチの需要は増大し、専門知識を保持した指導者を増やすことが急務となっています。日本スポーツ協会では、その指導者数増大のためにスタートコーチ制度(①競技別・②スポーツ少年団・③教員免許状所持者)をすでに開始しております。

今回、提案しますのは、競技別スタートコーチにあたる「公認卓球スタートコーチ」で、カリキュラムの時間数や経費面においてもハードルを低く設定しており、有資格者の増大、資質向上に寄与すると考えております。

2. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会(以下 JSPO)・公益財団法人日本卓球協会
 3. 主 管 都道府県卓球協会(連盟)
 4. 開 始 年 度 2024 年度

5. 受 講 資 格

- ・日本卓球協会登録者(選手登録・役職者登録)で2024年4月1日現在18歳以上の方
- ・現在指導している者又は指導者を志す方

6. 費 用

- ・受講料 10,000 円(開催地の収入として繰入れ)
 他、JSPO 管理手数料 1,100 円、共通科目レファレンスブック代 1,650 円、
 (専門科目テキスト「卓球基礎コーチング教本」代 ※個人購入 1,870 円)
 合計 12,800 円 (14,620 円)
- ・登録料 10,000 円(4年間)、種目別登録料 3,000 円、初期登録手数料(初回登録時
 のみ)3,300 円 合計 16,300 円 (2回目以降 13,000 円)

※詳細は、資料1『資格概要』参照

7. カリキュラム等

- ① 共通科目： 15時間(自宅学習 11.5 時間、集合講習 3.5 時間)
 →自宅学習は日本スポーツ協会作成レファレンスブックを使用
 →上記 3.5 時間は、専門科目実施日に集合講習で行う。
- ② 専門科目： 4 時間(+共通科目の 3.5 時間) 合計 7.5 時間を集合講習で実施
 →専門科目 4 時間は日本卓球協会作成「卓球基礎コーチング教本」を使用
 して開催地で実施(担当する講師が準備する)
 →共通科目 3.5 時間分の講義資料は、専門科目の基礎理論の一部を含めて
 PP 資料を作成して開催地に配布。
- ③ 検定試験： 無し
- ④ 講 師： 公認コーチ2以上の有資格者

※詳細は、資料2『スタートコーチカリキュラム』参照

8. 2024 年度 手続の大まかな流れ ※詳細については、後ほど説明

- ① 都道府県協会(連盟)からの開催申請締切日 2024 年 1 月 15 日
- ② 養成講習会は、2024 年 10 月末日までに実施
- ③ 事業終了報告を JTТА に報告(事業終了後 1 週間以内)
- ④ 資格認定日 2025 年 4 月 1 日